

2018年度AGME総会 議事録

日 時：2019年10月19日（土）14:00～15:10

場 所：青山学院大学渋谷キャンパス 15号館5階 第13会議室

出席者 32名、委任状668名 合計700名

議 事：

■第1号議案：2018年度活動報告の件

以下の活動について報告があった。

(1) 役員会等の開催：2018/11/30, 2019/3/1, 5/18, 9/7@青山、相模原キャンパス

(2) 活動内容

1. 運営改善と活性化、2. 学位授与式での顕彰と激励、3. 講座「機械技術と社会」へのゲストスピーカ派遣、4. ホームページの充実化、5. 校友会・大学部会との連携
- ・各行事参加に対してAGME会員のより一層の協力をお願いした。

■第2号議案：2018年度会計報告の件

- ・25,044円の赤字決算となった。
- ・2018年懇親会で当日キャンセルが10名程度発生したこと、案内状に用いる往復はがきを余分（約500枚、62,000円相当）に購入したことが要因。しかし、往復はがきは来年度に活用できるので、実質的には赤字ではない。
- ・島田会計監査役から適切な運営がなされているとの監査報告があった。

※第1号、第2号議案に対する質疑応答ののち、両議案ともに承認された。

■第3号議案：2019年度活動計画の件

本件に対して、以下の説明があった。

(1) 活動方針：これまでとは変わらず「AGME活動の活性化と一層の充実」を目指す。

(2) 運営改善と活性化

- ・AGME同窓生の参加拡大のための方策検討
- ・ホームページの更なる充実：同窓生との連絡窓口としての機能増強
- ・同窓生のメールアドレス登録の推進（現在約430名）

(3) 総会・懇親会の開催：出席100名（教職員・役員除く）を当面の目標とする。

(4) 学生支援活動

- ・講座「機械技術と社会」のゲストスピーカの派遣（フレッシュな人材を発掘）と学位授与式での顕彰と激励を、引き続き実施する。

(5) 校友会・大学部会との連携：滞りなく実施する。

(6) 2019年度は役員改選と会費徴収の年

- ・会費徴収は1974年3月卒～2017年3月卒同窓生が対象となる。

■第4号議案：2019年予算案の件

- ・会費徴収の年だが、何人の納入があるか予測困難。例年通りの予算設定とする。
- ・会費 3,000 円＋懇親会 7,000 円（予定）と負担が増すが、ご協力をお願いしたい。

※特に質問はなく、第4号議案、第5号議案ともに満場一致で承認された。

■第5号議案：会則の改訂

以下の3点につき、会則を改訂する報告があった。

- (1) 第1章第1条：文言ミスの修正
- (2) 第3章第1条：表現の適正化
- (3) 付則・細則の整理（改訂履歴の設定）

詳細は以下のとおりである。

- ・第1章第1条において、青山学院大学理工学部機械工学科・機械創造工学科同窓会（AGME）同窓会において、前ではなく後ろの同窓会を削除する。
- ・第3章1条：相談役1名（本大学理工学部機械工学科・機械創造工学科主任教授）の記述の中で「機械工学科・」は削除する。
- ・付則・細則を整理する。履歴・変遷の記録は「改訂履歴」を設け、そこに記載する。

※特に質問はなく、満場一致で承認された。速やかに会則改訂版をHP上で差替える。

■報告：役員一部変更の件

- ・機械創造工学科の学科主任交代があり、一部変更が発生する報告があった。
- ・学科主任交代に伴い、相談役に横田先生が就任、AGME同窓生でもある米山先生は会計監査役に専任する。

■その他：

- (1) 他の審議事項：出席者からの発動なし。
- (2) 運営企画についての意見交換

2.1 70歳以上の会費免除：納入義務はないが、自主的な寄付は大歓迎。

2.2 HP「卒業生からのメッセージ」への寄稿：これまでに多かった海外経験だけでなく、学生時代の思い出、近況、趣味活動など幅広いテーマで寄稿を募集する。

2.3 出欠回答に「郵便はがき」は不可欠か：メール、WEBなどの電子手段で大幅な経費削減が可能なことから、郵便連絡の必要性について意見を求めた。

- ・連絡経費を節約するため、会員を正・准などに分類し、正会員のみ会費を請求する同窓会があるとの情報提供があった。正会員には准会員にない様々な特典が与えられている。AGMEも検討課題とする。

- ・はがきの場合、メールアドレスの記載欄が狭く不明瞭になり易く、正しく登録されているか不安。事務局へのメール送信で通知するなど、誤記になりにくい方法を検討すべきとの意見があり、具体的な方法を検討することとなった。

以上